



ENJOY & CHALLENGE



Since 2017

2026年9月4日発行

教育目標「生き生きとした子ども」 小中一貫校まつのやま学園だより

第5号



「生きているっていいな」と思える学びを

学園長 日本 芳道

長い夏休みが終わり、学園に子どもたちの元気な声が戻ってきました。2学期は、日々の授業はもちろん、学園フェスタや創立10周年記念式典など、子どもたちが大きく成長する機会が数多くあります。一人一人が、自分らしく、仲間とともに充実した学びを積み重ねてほしいと願っています。

さて、この夏、私は教育学者・汐見稔幸氏の著書『教えから学びへ～教育にとって一番大切なこと～』を読み、改めて教育の原点について考える機会を得ました。汐見氏は、「なぜ人は学ぶのか」「何のために学ぶのか」を問うことは、「どう生きるか」を問うことなのだとしています。そして、「生きているっていいな」と心から思えるようになるためには、自分が自分らしく生きることと、周りの人や社会の幸せにつながる生き方を結び付けて考えることが大切だと語っています。自分は何をしているときに生き生きとするのか。何に夢中になれるのか。そして、自分はどのように地域や社会とかわかり、誰かの役に立つことができるのか。その答えを見つけるために人は学ぶのだという言葉に、私は深く共感しました。

まつのやま学園の教育目標は、「生き生きとした子ども」の育成です。私たちが目指す「生き生き」とは、単に元気で活発な姿だけではなく、自分のよさや可能性に気づき、自分らしさを発揮しながら、友だちや地域の方々とつながり、自分の存在価値や役割を実感している姿であると考えています。特に、「まつのやまタイム」は、地域を学ぶことを通して、「松之山をもっとよい地域にするために、自分には何ができるのか」を考え、自分の生き方や役割を見つめる学びとして位置付けています。課題を見付け、仲間と協働し、地域の方々とかわる学びの先には、「自分はどのように生きていきたいのか」「社会の中でどのような役割を果たしたいのか」という問いがあります。

2学期、子どもたちにはどのような探究が待ち受けているのでしょうか。どのような人との出会いがあり、どのような気づきや成長が生まれるのでしょうか。その一つ一つの経験を通して、「自分には何ができるのか」「自分はどのように生きていきたいのか」を問い続けながら、生き生きと挑戦し、自分の幸せと周りの人や地域の幸せをつなげていく子どもたちの姿を楽しみにしています。

2学期も、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせながら、「生き生きとした子ども」の育成に努めてまいります。引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

前期学校評価の結果

学校評価 4 部会の評価を中心に結果を以下にまとめました。

○ まなび（学力向上）

項 目	児童生徒評価	保護者評価
意欲的に楽しく学習している。	92 %	83 %
学習の場で自分の思いや考えを進んで伝えている。	91 %	85 %
目標をもって計画的に学習に取り組んでいる。	79 %	73 %

【成果】

授業において、対話のある学びの場を工夫したにより、児童生徒が意欲的に楽しく学ぶことができた。対話のある学びが増えたことに伴い、学習に対する意欲も高まっていると考えられる。

【2 学期に向けて】

「目標をもって計画的に学習に取り組んでいる」の肯定的評価の割合が低い。ホップ期では、授業中の学習課題や宿題等のやらなければならない課題を明確にしなが
ら、学習できるようにしていく。ステップ期、ジャンプ期では、チャレンジウィーク
の際に、計画的に学習に取り組めるよう、支援をしていく。

○ からだ（健康・体力）

項 目	児童生徒評価	保護者評価
運動・スポーツに前向きに取り組んでいる。	81 %	75 %
規則正しい生活（運動・食事・睡眠）を意識している。	87 %	77 %
家庭でメディア利用の約束をして、その約束を守っている。	75 %	46 %

【成果】

児童生徒が体力や健康について関心や意欲をもちながら、いきいきアップなどの運動に取り組むことができています。また、教職員が運動や健康に関する指導や支援を意識しながら行うこともできている。

【2 学期に向けて】

メディアの利用に関して、児童生徒と保護者の捉えが大きく異なっている。メディア講演会や、まつのやまいきき週間の活動を通して、メディアの望ましい利用について、支援・指導を行う。また、保護者と子どもと一緒にメディア利用について考える機会を設けながら、児童生徒、学校、家庭が一体となってよりよいメディアとの付き合い方を考えていけるようにする。

○ ゆめ（不登校・いじめ防止）

項 目	児童生徒評価	保護者評価
学園生活で自分の役割を果たし前向きに生活している。	95 %	94 %
「チャレンジ班活動」などを通して温かな人間関係づくりに努めている。	92 %	
誰にでも思いやりをもって接している。	91 %	
まちがった行動をしている人に注意することができる。	81 %	
いじめはどんな理由があってもやってはいけないことだと思う。	97 %	94 %
お子さんは、夢や将来について語っている。		63 %
学園は、いじめ・不登校の未然防止、早期発見早期対応、解消に努めている。		88 %

【成果】

「いじめはどんな理由があってもやってはいけないことだと思う」の項目では、児童生徒、保護者ともに肯定的評価の割合が高かった。学校生活アンケートや、教職員の情報交換を細かに行い、いじめや不登校の早期発見につなげることができている。今後もいじめの早期発見と、不登校の減少に向けた取組を継続していく。

【2学期に向けて】

いじめや不登校に関する情報交換が十分にできたが、より詳細な児童生徒の状況把握のために、情報共有の方法の見直しを図る。また、保護者アンケートの「お子さんは、夢や将来について語っている」の項目で肯定的評価の割合が低いいため、キャリア教育の視点を意識して様々な教育活動を行う。

○ きずな（インクルーシブ・総合支援）

＜子ども自己評価結果＞

項 目	肯定的評価
自分の良いところを生活の中で生かしている。	95 %
一人一人のちがいや個性を大切に、仲間と接することができる。	97 %
困っているときに相談できる人がいる。	86 %

＜保護者評価結果＞

お子さんは、仲間と互いに認め合い、協力して学校生活を送っている。	94 %
お子さんは、自分の良いところを生活の中で生かそうとしている。	94 %
学園は、個性を認め、個に合った指導・支援を行っている。	92 %

【成果】

全職員で個々の子どもに合った支援内容を共通理解し、一人一人にあった指導を行うことができた。今後も、保護者、教職員、関係者等で、支援内容の方向性をそろえながら、教育活動に取り組んでいく。

【2学期に向けて】

校内の支援委員会の機会が少なかった。支援が必要な児童生徒の情報交換、支援の方法、保護者との連携の検討等を、定期的に行っていく。

保護者が参加できる特別支援教育基礎講座の研修会を実施する。

○ その他（家庭、地域、小中一貫教育等）

＜子ども自己評価結果＞

項 目	肯定的評価
家庭の中でお手伝いなどの役割がある。	72 %
この松之山のふるさとを自慢することができる。	89 %
まつのやまタイムや部活動などで地域の人と触れ合うことが好きだ。	89 %

＜保護者評価結果＞

学園は、小中一貫教育において、保護者・地域住民への呼び掛けなど、一体となった活動に努めている。	92 %
学園は、保護者参観やおたより等で、小中一貫教育の具体的な取組内容や成果・課題を公表している。	98 %

子どもの地域への愛着、保護者の方の小中一貫教育に対する評価は、肯定的回答の割合が高かった。今後も、保護者、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら「生き生きとした子ども」の育成を目指して教育活動を推進する。

＜主な保護者自由記述に対する回答＞

○まつのやま学園の特色と思っていた活動がどんどんなくなっているように思う。学園創設時は英語に力を入れることが柱の1つになっていた。

→今年度は職員数の減少等により、これまでと同じような形でE+タイムを実施することが難しい状況となっており、保護者の皆様にはご心配をおかけしております。

2学期より、新しいALTが着任するので、ホップ期は、月に1回程度、ステップ期、ジャンプ期は週1回程度、ALTと活動できる時間を設定します。単元の最後や日常的な会話などが充実する活動となるようにしていきます。

○学校運営協議会のメンバーに、保護者をもう少し増やしてほしい。

→次年度以降、学校運営協議会の家庭教育充実部に保護者の方から入っていただく方向で検討します。

○雪里留学について、学園からの発信がほとんどないことを心配している。ぜひ、松

之山への教育移住に関する情報発信を強化してほしい。
→雪里留学に関心をもってください。学園での教育活動の様子を分かりやすく発信していくことは大切だと考えています。今後は、雪里留学につながる学園の特色についてより分かりやすくお伝えできるよう、関係機関とも連携しながら可能な範囲で情報発信を充実させていきます。

2 学期の教育活動が順調にスタートしました！

【A L T の紹介】

2 学期から新しい A L T が配属されました。アメリカ出身です。まつのやま学園には月曜日と火曜日に勤務し、子どもたちと楽しく英語の授業を行います。2 学期から、どうぞよろしくお願いいたします

松之山地すべり 60 周年事業 地すべりシンポジウム「松之山の魅力を語る」

日時・会場 9 月 17 日（木） 13：55～16：25 まつのやま学園 体育館
主催：シン・奎右衛門クラブ 共催：松之山自治振興会

14：00～14：45 基調講演

講師：新潟大学災害・復興科学研究所 防減災技術研究部門准教授 渡部 直喜 様

演題：「松之山温泉と地すべりの恵み」

15：05～16：05 パネルディスカッション 「温泉やぐらし・文化、歴史の側面から捉えた松之山」

地域回覧等ですすでにご存じかと思いますが、9 月 17 日（木）にまつのやま学園を会場に地すべりシンポジウムを開催します。どなたでも参加いただけます。事前の申し込みも不要です。ぜひ、多くの方のお越しをお待ちしております。

9 月行事予定

生活目標：みんなで創ろう できたという喜びを

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	火	SJ 期委員会活動	19	土	
2	水		20	日	
3	木	学校生活アンケート	21	月	敬老の日
4	金		22	火	国民の休日
5	土		23	水	秋分の日
6	日		24	木	学校生活アンケート
7	月	身体測定・中学部（4 限） 教育実習（～10/2）	25	金	9 年生学習の確認テスト②
8	火	SJ 期委員会活動 身体測定・5 6 年（2 限）	26	土	
9	水	身体測定・3 4 年（3 限）	27	日	
10	木	学校生活アンケート 身体測定・1 2 年（2 限）	28	月	
11	金		29	火	SJ 期委員会活動
12	土	郡市発明工夫模型展（～14 日）	30	水	中学部郡市科学研究発表会（午後）
13	日		1	木	学校生活アンケート
14	月		2	金	
15	火	SJ 期委員会活動 まつのやまいきいき週間（～21 日）	3	土	
16	水		4	日	
17	木	2～5 限フリー参観・PTA 草刈り② SJ 期メディア講演会（4 限） 地すべりシンポジウム（5・6 限） 生活アンケート・いじめ 0 アンケート	5	月	SJ 期お弁当の日
18	金				